

沖縄県経済動向

(令和8年1月-3月期)

令和8年6月30日

沖縄県企画部 企画調整課

沖縄県経済動向

景気は、拡大基調にある。

※指標は、特記が無い限り令和8年1月-3月期とする。

※本資料において、「前年比」は前年同期あるいは前年同月からの増減比とする。

※本頁において、「+、△」は前年同期あるいは前期からの増減とする。

【観光】

- 入域観光客数は、20期連続で前年同期を上回っている。国内客は、航空会社の臨時便や地方チャーター便の運航等があったことから、7期連続で前年同期を上回っている。外国客は、航空路線の新規就航やクルーズ船の寄港回数増等により、15期連続で前年同期を上回っている。
(総数 +7.3%、国内客 +4.0%、外国客 +17.9%)
- 主要ホテルの客室稼働率は、8期連続で前年同期を上回っている。観光施設入場者数は、17期連続で前年同期を上回っている。
(客室稼働率 71.9%、+2.5pt)

【個人消費】

- 百貨店・スーパー販売額は、既存店は18期連続、全店舗は22期連続で前年同期を上回っている。
(販売額 既存店 +6.8%、全店舗 +6.1%)
- 自動車登録台数(新車)は、総台数は3期連続で前年同期を下回っている。軽自動車は、前年同期を上回っている。
(総台数 △2.7%、軽自動車 +6.7%)

【建設関連】

- 住宅は、着工戸数は3期連続で、着工床面積は2期連続で前年同期を上回っている。非居住建築物は、着工床面積、工事費ともに、2期連続で前年同期を上回っている。
(住宅着工戸数 +20.2%、非居住建築物工事費 +237.5%)
- 公共工事は、保証件数は前年同期を上回っている。請負額は、3期連続で前年同期を上回っている。
(公共工事保証件数 +8.4%、請負額 +20.6%)

【雇用情勢】

- 完全失業率は、前年同期から0.3ポイント上昇した。(完全失業率 3.1%(原数値)、+0.3pt)
- 有効求人倍率は、前期と同水準で、15期連続で1倍超となっている。
(有効求人倍率 1.08倍(季節調整値)、±0pt)

【物価】

- 消費者物価指数は、18期連続で前年同期を上回っている。
(消費者物価指数(総合) +1.3)
- レギュラーガソリン小売価格は、4期連続で前年同期を下回っている。
(レギュラーガソリン小売価格 △15.5円)

以上のように、物価高が続くものの、観光需要の増加が続いていることから、「景気は、拡大基調にある。」(4期連続)とした。

なお、先行きについては、好調な観光需要を背景に拡大基調が続くことが期待されるが、中東情勢を背景とする物価高やサプライチェーンの停滞が県経済に及ぼす影響に十分注意する必要がある。

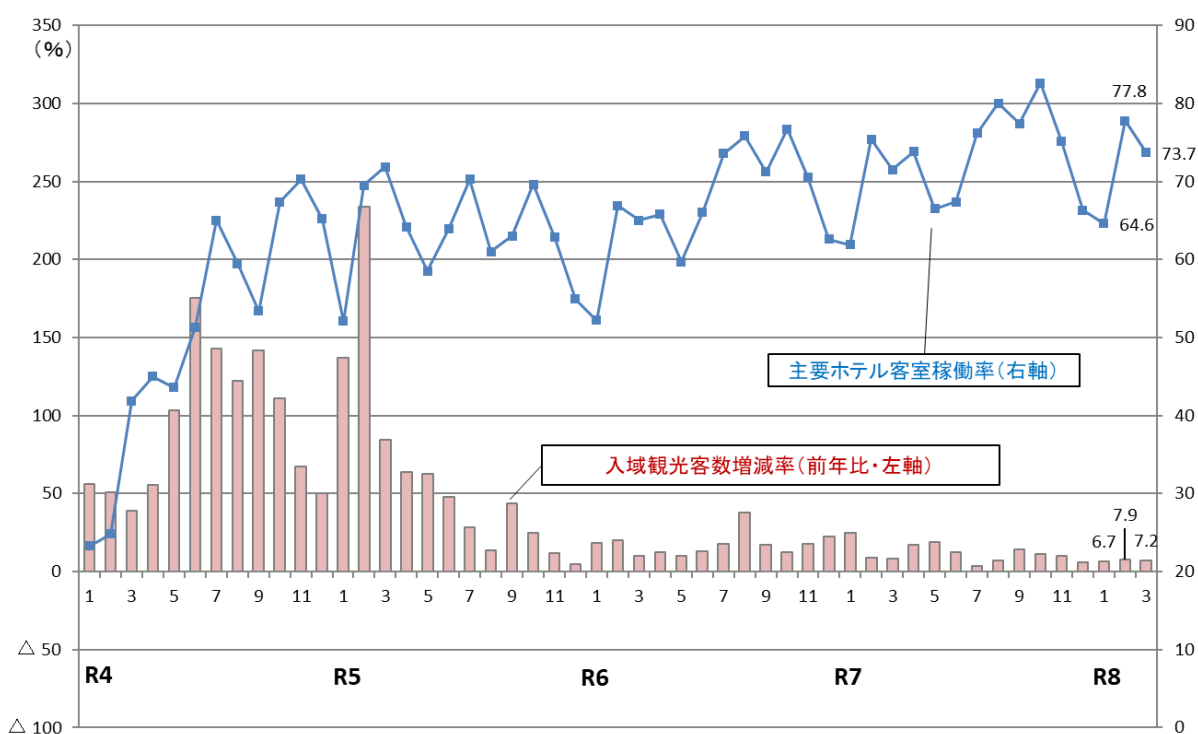
① 観光

- 入域観光客数は、20期連続で前年同期を上回っている。
うち国内客は、航空会社の臨時便や地方チャーター便の運航等があったことから、7期連続で前年同期を上回っている。
外国客は、航空路線新規就航やクルーズ船の寄港回数増等により、15期連続で前年同期を上回った。
- 主要ホテルの客室稼働率は8期連続で前年同期を上回った。観光施設入場者数は、17期連続で前年同期を上回っている。

	入域観光客数						主要ホテル客室稼働率		観光施設入場者数
	総数		国内客		外国客		(%)	前年差※1	前年比 (%)
	(百人)	前年比	(百人)	前年比	(百人)	前年比			
参考 R3. 1-3月	5,620	△ 67.2	5,620	△ 61.5	0	(皆減)	22.2	△ 36.2	△ 64.7
参考 R4. 1-3月	8,195	45.8	8,195	45.8	0	-	30.2	8.0	13.2
参考 R5. 1-3月	18,963	131.4	17,439	112.8	1,524	(皆増)	64.3	34.1	190.2
参考 R6. 1-3月	21,935	15.7	17,642	1.2	4,293	181.7	61.2	△ 3.1	20.0
R7. 1-3月	24,772	12.9	18,886	7.1	5,886	37.1	69.4	8.2	17.3
4-6月	25,641	16.0	18,213	5.1	7,428	55.3	69.2	5.4	16.8
7-9月	29,705	8.0	21,726	3.7	7,979	21.9	77.9	4.4	5.0
10-12月	27,432	9.1	20,359	4.7	7,073	25.4	74.7	4.8	8.6
R8. 1-3月	26,571	7.3	19,633	4.0	6,938	17.9	71.9	2.5	6.2
R7. 1月	7,834	24.5	5,668	11.4	2,166	79.9	61.9	9.7	25.4
2月	7,814	8.6	6,064	5.6	1,750	20.9	75.4	8.5	14.5
3月	9,124	8.0	7,154	5.1	1,970	20.0	71.5	19.3	13.6
4月	8,826	17.3	6,209	4.6	2,617	64.7	73.8	8.0	16.8
5月	8,426	18.6	6,010	7.0	2,416	62.3	66.5	6.8	18.1
6月	8,389	12.2	5,994	3.8	2,395	40.6	67.4	1.4	15.2
7月	9,476	3.5	7,042	1.7	2,434	9.1	76.2	2.6	6.4
8月	10,749	7.1	7,835	1.9	2,914	24.0	80.0	4.2	3.9
9月	9,480	14.1	6,849	7.9	2,631	34.0	77.4	6.2	4.5
10月	9,861	11.2	7,252	4.4	2,609	35.6	82.6	5.9	8.9
11月	8,945	10.3	6,628	4.1	2,317	32.9	75.1	4.5	11.3
12月	8,626	5.7	6,479	5.8	2,147	8.9	66.3	3.7	5.4
R8. 1月	8,360	6.7	6,014	6.1	2,346	8.3	64.6	2.7	6.4
2月	8,428	7.9	6,235	2.8	2,193	25.3	77.8	2.4	6.7
3月	9,783	7.2	7,384	3.2	2,399	21.8	73.7	2.2	5.6

※1：本資料において、「前年差」については四半期指標が「前年同期差」、月次指標が「前年同月差」である。

「入域観光客数増減率」「主要ホテル客室稼働率」 月別推移

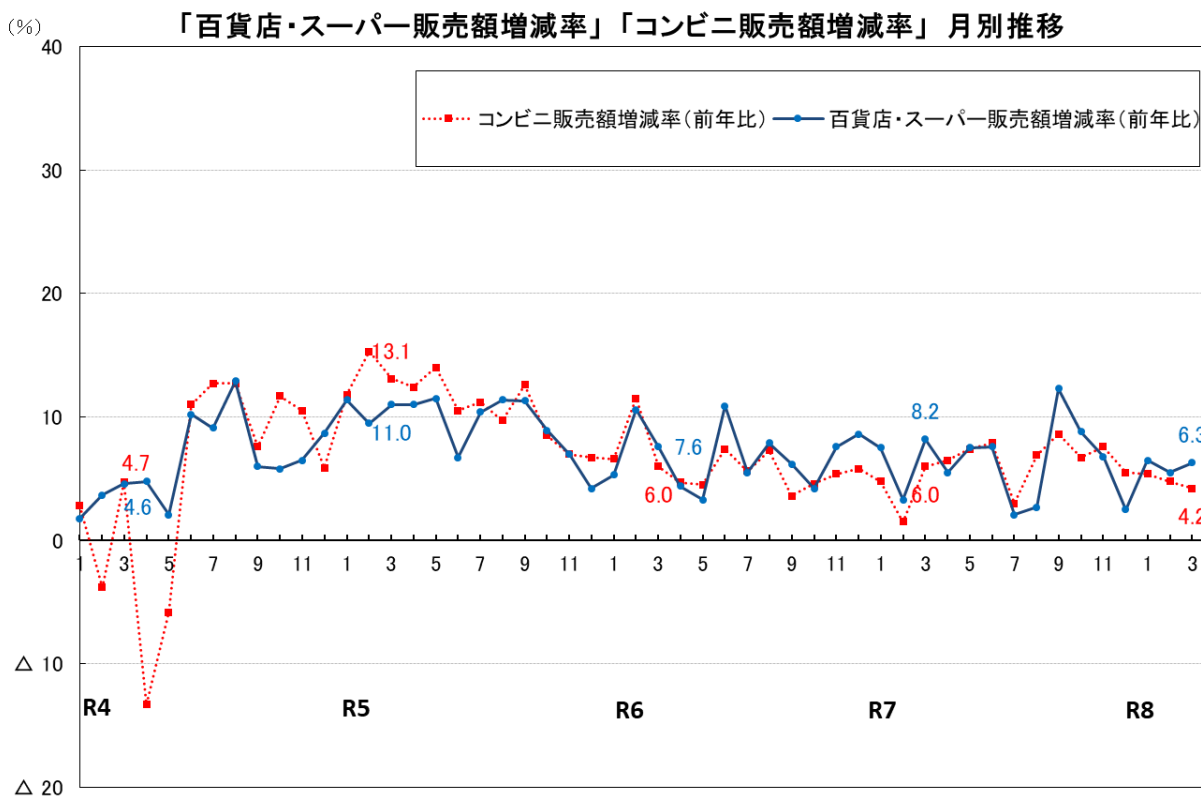


② 個人消費

- 百貨店・スーパー販売額は、既存店は18期連続、全店舗は22期連続で前年同期を上回っている。
- コンビニ販売額は、15期連続で前年同期を上回っている。
- 家電大型専門店販売額は、前年同期を上回っている。
- 自動車登録台数(新車)は、総台数は3期連続で前年同期を下回っている。軽自動車は、前年同期を上回っている。
- 家計消費支出、実収入は、ともに前年同期を上回っている。

	百貨店・スーパー販売額(前年比)		コンビニ販売額	家電大型専門店販売額	自動車登録台数(新車)				家計消費支出※1(名目)		実収入(名目)	
	既存店	全店舗	前年比	前年比	総台数		うち軽自動車		(円)	前年比	(円)	前年比
					(台)	前年比	(台)	前年比				
参考 R3. 1-3月	△ 2.2	0.1	△ 0.2	28.2	12,557	△ 3.6	7,439	17.6	225,044	12.3	394,752	24.2
参考 R4. 1-3月	1.5	3.4	1.3	10.8	9,882	△ 21.3	5,182	△ 30.3	236,193	5.0	352,466	△ 10.7
参考 R5. 1-3月	8.3	10.7	13.4	△ 3.3	12,875	30.3	6,143	18.5	234,224	△ 0.8	398,483	13.1
参考 R6. 1-3月	7.7	7.7	7.9	6.8	9,568	△ 25.7	4,630	△ 24.6	214,917	△ 8.2	399,606	0.3
R7. 1-3月	4.8	6.4	4.1	6.7	12,772	33.5	5,783	24.9	256,095	19.2	437,110	9.4
4-6月	5.3	6.9	7.3	△ 5.3	12,497	17.6	5,438	22.1	238,785	9.9	510,009	4.6
7-9月	3.8	5.4	6.1	△ 5.6	11,831	△ 1.2	5,629	△ 2.9	225,803	△ 11.5	418,876	△ 5.0
10-12月	5.9	5.7	6.6	△ 0.1	10,344	△ 4.6	5,376	△ 2.1	222,286	△ 9.0	598,912	10.4
R8. 1-3月	6.8	6.1	6.6	4.4	12,421	△ 2.7	6,173	6.7	263,286	2.8	493,687	12.9
R7. 1月	5.8	7.5	4.8	8.9	3,970	38.5	1,856	28.2	289,140	30.1	420,759	12.6
2月	1.8	3.3	1.5	4.2	4,168	43.1	1,864	36.9	239,454	20.0	489,903	12.7
3月	6.6	8.2	6.0	6.6	4,634	22.3	2,063	13.4	239,691	7.5	400,667	2.6
4月	3.9	5.5	6.5	△ 10.8	3,858	21.2	1,737	34.3	249,716	13.0	472,782	7.2
5月	5.9	7.5	7.4	14.2	3,354	9.6	1,651	16.0	244,084	21.1	392,601	2.2
6月	6.0	7.6	7.9	△ 15.0	5,285	20.5	2,050	17.9	222,554	△ 3.0	664,644	4.3
7月	0.6	2.1	3.0	△ 17.4	4,873	5.6	2,049	6.7	232,661	△ 13.8	413,143	△ 11.0
8月	1.4	2.7	6.9	2.8	3,229	△ 4.7	1,586	△ 7.8	227,624	△ 14.2	469,585	△ 3.1
9月	10.2	12.3	8.6	1.0	3,729	△ 6.0	1,994	△ 7.6	217,123	△ 5.7	373,900	0.0
10月	8.1	8.8	6.7	4.7	3,728	△ 1.2	2,007	△ 0.6	213,991	△ 13.3	469,778	3.8
11月	7.5	6.8	7.6	1.0	3,335	△ 7.3	1,721	△ 8.3	206,414	△ 8.7	389,294	△ 5.4
12月	3.0	2.5	5.5	△ 4.6	3,281	△ 5.7	1,648	3.3	246,454	△ 5.2	937,663	22.8
R8. 1月	7.2	6.5	5.4	9.2	3,840	△ 3.3	1,893	2.0	229,325	△ 20.7	442,619	5.2
2月	6.2	5.5	4.8	3.5	3,903	△ 6.4	1,951	4.7	304,943	27.3	539,750	10.2
3月	7.0	6.3	4.2	1.2	4,678	0.9	2,329	12.9	255,590	6.6	498,691	24.5

※1：家計消費支出は二人以上の世帯、実収入は二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値



③ 建設関連

- 住宅は、着工戸数は3期連続で、着工床面積は2期連続で前年同期を上回っている。
- 非居住建築物は、着工床面積、工事費ともに、2期連続で前年同期を上回っている。
- 公共工事は、保証件数、請負額ともに前年同期を上回っている。

	住宅着工				非居住建築物			
	戸数	前年比	面積 (㎡)	前年比	面積 (㎡)	前年比	工事費 (百万円)	前年比
参考 R3. 1-3月	2,280	△ 13.9	176,969	△ 15.3	260,162	63.0	98,134	124.2
参考 R4. 1-3月	1,927	△ 15.5	175,180	△ 1.0	182,712	△ 29.8	42,260	△ 56.9
参考 R5. 1-3月	2,222	15.3	185,544	5.9	85,965	△ 53.0	30,496	△ 27.8
参考 R6. 1-3月	2,046	△ 7.9	163,601	△ 11.8	88,907	3.4	31,114	2.0
R7. 1-3月	2,282	11.5	185,647	13.5	67,646	△ 23.9	20,745	△ 33.3
4-6月	2,084	△ 20.4	165,873	△ 11.3	125,747	△ 36.7	52,511	△ 28.8
7-9月	2,652	5.7	185,507	△ 0.5	70,522	△ 20.7	24,315	△ 16.2
10-12月	2,898	14.5	222,589	12.4	118,747	57.0	42,354	50.0
R8. 1-3月	2,742	20.2	203,785	9.8	177,930	163.0	70,011	237.5
R7. 1月	522	△ 32.0	41,219	△ 30.9	29,484	69.6	10,218	78.3
2月	605	△ 5.5	48,352	△ 9.3	14,827	△ 28.8	4,681	△ 10.8
3月	1,155	81.0	96,076	89.7	23,335	△ 54.0	5,845	△ 71.0
4月	1,034	21.4	81,155	32.5	32,000	△ 27.0	6,803	△ 52.3
5月	406	△ 49.5	35,005	△ 34.9	71,109	△ 25.5	38,237	△ 1.2
6月	644	△ 33.1	49,713	△ 30.8	22,638	△ 61.8	7,470	△ 64.1
7月	781	△ 18.2	55,397	△ 19.0	23,526	△ 12.8	7,809	△ 0.2
8月	816	9.7	57,883	△ 1.7	31,119	△ 16.0	12,575	26.8
9月	1,055	30.2	72,227	22.1	15,877	△ 36.2	3,930	△ 65.1
10月	1,035	14.2	77,810	12.6	74,149	214.9	26,402	156.7
11月	875	14.2	69,883	26.0	17,961	△ 3.0	8,457	87.0
12月	988	15.2	74,896	1.9	26,637	△ 20.7	7,494	△ 44.2
R8. 1月	650	24.5	46,035	11.7	76,448	159.3	43,760	328.3
2月	915	51.2	67,629	39.9	20,139	35.8	6,815	45.6
3月	1,177	1.9	90,121	△ 6.2	81,343	248.6	19,435	232.5

	公共工事保証請負額・件数				建設資材価格 (那覇, R2=100)
	件数	前年比	額 (百万円)	前年比	
参考 R3. 1-3月	554	△ 4.8	65,884	0.7	101.3
参考 R4. 1-3月	536	△ 3.2	106,202	61.2	120.9
参考 R5. 1-3月	595	11.0	155,400	46.3	153.0
R6. 1-3月	594	△ 0.2	171,609	10.4	143.7
R7. 1-3月	525	△ 11.6	188,979	10.1	139.2
4-6月	626	8.9	68,394	△ 3.3	139.5
7-9月	961	△ 3.7	128,302	25.9	140.2
10-12月	680	△ 3.3	87,172	42.1	140.3
R8. 1-3月	569	8.4	227,823	20.6	140.2
R7. 1月	127	2.4	20,977	△ 50.2	139.2
2月	145	△ 20.3	26,052	△ 51.7	139.2
3月	253	△ 12.2	141,950	88.1	139.2
4月	171	7.5	20,078	41.1	139.2
5月	195	11.4	21,968	△ 2.0	139.1
6月	260	7.9	26,348	△ 22.7	140.3
7月	351	4.2	42,763	△ 5.6	140.3
8月	295	△ 6.9	54,259	130.0	140.0
9月	315	△ 8.4	31,280	△ 5.2	140.2
10月	282	△ 1.4	44,324	80.0	140.3
11月	224	△ 10.8	27,096	1.6	140.3
12月	174	4.8	15,752	56.5	140.2
R8. 1月	129	1.6	13,220	△ 37.0	140.2
2月	153	5.5	96,827	271.7	140.2
3月	287	13.4	117,776	△ 17.0	140.7

④ 雇用情勢

- 労働力人口は、前年同期より1万7千人、就業者数は1万4千人の増加となっている。
- 完全失業者数は、25千人となった。完全失業率(原数値)は、3.1%で前年同期から0.3ポイント上昇した。
- 有効求人倍率(季調値)は、1.08倍で前期と同水準となった。15期連続で1倍超となっている。
- 正社員有効求人倍率(原数値)は、0.76倍で前年同期より0.03ポイント上昇した。

	労働力人口		就業者数		完全失業者数		完全失業率 (原数値)		完全失業率 (季調値)	
	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(%)	前年差	(%)	前期差
参考 R3. 1-3月	758	△ 2	728	△ 9	29	6	3.9	0.9	3.9	0.3
参考 R4. 1-3月	779	21	749	21	29	0	3.8	△ 0.1	3.7	0.4
参考 R5. 1-3月	783	4	756	7	27	△ 2	3.5	△ 0.3	3.3	0.0
参考 R6. 1-3月	791	8	766	10	25	△ 2	3.2	△ 0.3	3.0	△ 0.2
R7. 1-3月	792	1	770	4	22	△ 3.0	2.8	△ 0.4	2.8	△ 0.4
4-6月	794	7	768	7	26	△ 0.3	3.2	△ 0.1	3.2	0.4
7-9月	792	3	767	4	25	△ 1.3	3.1	0.1	3.0	△ 0.2
10-12月	795	△ 8	769	△ 11	26	2.4	3.2	0.3	3.4	0.4
R8. 1-3月	809	17	784	14	25	3.3	3.1	0.3	3.1	△ 0.3
R7. 1月	800	4	780	5	20	△ 2	2.5	△ 0.3	2.8	△ 0.2
2月	787	△ 3	769	3	18	△ 6	2.3	△ 0.7	2.4	△ 0.4
3月	788	2	760	3	28	△ 1	3.6	△ 0.1	3.1	0.7
4月	801	7	768	5	33	2	4.1	0.2	3.5	0.4
5月	798	12	774	13	23	△ 2	2.9	△ 0.3	3.0	△ 0.5
6月	782	2	761	3	21	△ 1	2.7	△ 0.1	3.0	0.0
7月	778	△ 6	753	△ 4	24	△ 3	3.1	△ 0.3	3.1	0.1
8月	795	12	773	14	22	△ 2	2.8	△ 0.3	2.7	△ 0.4
9月	803	3	775	3	28	0	3.5	0.0	3.3	0.6
10月	797	2	769	△ 2	27	4	3.4	0.5	3.6	0.3
11月	788	△ 16	761	△ 19	27	3	3.4	0.4	3.6	0.0
12月	801	△ 10	777	△ 12	23	0	2.9	0.1	3.1	△ 0.5
R8. 1月	805	5	783	3	22	2	2.7	0.2	3.1	0.0
2月	810	23	784	15	26	8	3.2	0.9	3.3	0.2
3月	813	25	785	25	28	0	3.4	△ 0.2	3.0	△ 0.3

	有効求職者数 (季調値)		有効求人数 (季調値)		有効求人倍率 (季調値)		正社員有効求人倍率 (原数値)		現金給与 総額指数※1	
	(人)	前期差	(人)	前期差	(倍)	前期差	(倍)	前年差	(R2=100)	前年差
参考 R3. 1-3月	30,044	73	23,547	831	0.78	0.02	0.46	△ 0.17	84.8	△ 1.9
参考 R4. 1-3月	32,212	359	28,274	1,954	0.88	0.05	0.52	0.06	85.3	0.5
参考 R5. 1-3月	29,477	△ 592	33,593	500	1.14	0.04	0.68	0.16	85.0	△ 0.3
参考 R6. 1-3月	28,855	5	33,011	△ 147	1.14	△ 0.01	0.74	0.06	85.4	0.4
R7. 1-3月	28,528	286	31,027	△ 697	1.09	△ 0.03	0.73	△ 0.01	90.4	5.0
4-6月	27,953	△ 575	30,870	△ 157	1.10	0.01	0.75	0.05	104.1	3.5
7-9月	27,546	△ 407	30,376	△ 494	1.10	0.00	0.78	0.02	100.0	7.9
10-12月	27,129	△ 417	29,285	△ 1,091	1.08	△ 0.02	0.79	0.01	120.1	10.2
R8. 1-3月	26,921	△ 208	29,035	△ 250	1.08	0.00	0.76	0.03	99.0	8.6
R7. 1月	28,909	710	31,540	171	1.09	△ 0.02	0.77	△ 0.01	86.1	2.2
2月	28,473	△ 436	30,978	△ 562	1.09	0.00	0.71	△ 0.02	86.2	2.7
3月	28,203	△ 270	30,562	△ 416	1.08	△ 0.01	0.70	△ 0.01	98.8	9.9
4月	27,985	△ 218	30,820	258	1.10	0.02	0.73	0.04	89.1	1.4
5月	28,100	115	30,885	65	1.10	0.00	0.74	0.05	90.3	2.8
6月	27,773	△ 327	30,905	20	1.11	0.01	0.78	0.07	133.0	6.3
7月	27,688	△ 85	30,721	△ 184	1.11	0.00	0.79	0.05	107.2	10.1
8月	27,535	△ 153	30,204	△ 517	1.10	△ 0.01	0.77	△ 0.01	98.6	4.9
9月	27,414	△ 121	30,204	0	1.10	0.00	0.77	0.01	94.1	8.5
10月	27,291	△ 123	29,551	△ 653	1.08	△ 0.02	0.77	0.00	92.2	6.5
11月	27,168	△ 123	29,326	△ 225	1.08	0.00	0.80	0.03	96.6	5.4
12月	26,927	△ 241	28,979	△ 347	1.08	0.00	0.81	0.00	171.5	18.6
R8. 1月	27,211	284	29,161	182	1.07	△ 0.01	0.78	0.01	97.6	11.5
2月	26,632	△ 579	28,781	△ 380	1.08	0.01	0.72	0.01	97.8	11.6
3月	26,666	34	28,927	146	1.08	0.00	0.70	0.00	101.6	2.8

※1：現金給与総額は事業所規模5人以上の値。

⑤ 物価

- 消費者物価指数は、18期連続で前年同期を上回っている。
- レギュラーガソリン小売価格は、4期連続で前年同期を下回っている。

	消費者物価指数 (R2=100)				レギュラーガソリン小売価格			
	総合	前年比	前月比	総合 (生鮮除く)	食料	(円/ℓ)	前年差	前期差
参考 R3.1-3月	100.1	0.0	0.2	100.3	99.2	147.0	△ 9.5	6.4
参考 R4.1-3月	100.9	0.8	0.5	100.9	102.0	174.7	27.7	3.9
参考 R5.1-3月	104.2	3.3	△ 0.3	104.1	111.1	171.9	△ 2.8	△ 3.4
参考 R6.1-3月	108.1	3.7	△ 0.1	107.8	117.9	178.0	6.1	△ 1.6
R7.1-3月	113.1	4.6	0.8	112.3	127.2	186.0	8.0	7.1
4-6月	113.6	4.0	0.4	113.3	128.2	184.7	6.3	△ 1.3
7-9月	114.2	3.1	0.5	113.7	130.3	177.6	△ 1.7	△ 7.1
10-12月	115.3	2.8	1.0	114.6	132.7	177.5	△ 1.4	△ 0.1
R8.1-3月	114.6	1.3	△ 0.6	114.5	132.0	162.0	△ 24.0	△ 15.5
R7.1月	113.3	4.8	0.3	112.2	127.1	183.9	4.5	5.4
2月	112.9	4.5	△ 0.3	112.1	127.6	187.8	10.6	3.9
3月	113.1	4.6	0.2	112.6	126.8	186.2	8.9	△ 1.6
4月	113.2	4.1	0.1	112.9	127.5	189.2	11.3	3.0
5月	113.7	3.8	0.4	113.4	128.1	185.3	6.3	△ 3.9
6月	113.8	4.0	0.1	113.6	128.9	179.7	1.5	△ 5.6
7月	114.0	3.2	0.2	113.8	129.3	175.8	△ 3.7	△ 3.9
8月	114.2	3.0	0.1	113.7	130.0	179.0	△ 0.3	3.2
9月	114.3	2.8	0.1	113.6	131.5	178.0	△ 1.2	△ 1.0
10月	115.0	3.2	0.6	114.2	132.5	180.9	1.8	2.9
11月	115.7	3.1	0.6	114.9	133.2	178.6	△ 0.5	△ 2.3
12月	115.3	2.1	△ 0.4	114.6	132.4	173.1	△ 5.4	△ 5.5
R8.1月	115.0	1.5	△ 0.2	114.5	132.4	161.7	△ 22.2	△ 11.4
2月	114.0	0.9	△ 0.9	113.7	131.0	160.7	△ 27.1	△ 1.0
3月	114.7	1.4	0.6	114.7	130.8	163.5	△ 22.7	2.8

⑥ 金融

- 実質預金・貸出金(県内6行庫)は、前年同期を上回っている。
- 貸出約定平均金利(地元3行)は、前年同期を上回っている。

	預金・貸出金残高(県内6行庫計)					地方銀行貸出約定平均金利	
	実質預金(A)		貸出金(B)		比率※1 (B/A)	全国(%)	沖縄(地元3行貸出 約定平均金利) 月末水準(%)
	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)			
参考 R3.1-3月	56,384	12.0	42,585	4.5	0.76	0.852	1.386
参考 R4.1-3月	58,716	4.1	43,068	1.1	0.73	0.822	1.352
参考 R5.1-3月	60,834	3.6	43,907	1.9	0.72	0.803	1.324
参考 R6.1-3月	62,838	3.3	45,114	2.7	0.72	0.813	1.297
R7.1-3月	62,889	0.1	45,677	1.2	0.73	1.015	1.487
4-6月	64,224	1.0	45,416	2.5	0.71	1.097	1.599
7-9月	63,823	0.8	45,739	2.3	0.72	1.118	1.602
10-12月	64,138	0.8	46,431	3.3	0.72	1.160	1.601
R8.1-3月	65,505	4.2	46,701	2.2	0.71	1.260	1.728
R7.1月	62,709	1.7	45,045	2.4	0.72	0.951	1.423
2月	62,619	1.7	45,235	2.5	0.72	0.971	1.420
3月	62,889	0.1	45,677	1.2	0.73	1.015	1.487
4月	64,184	1.3	45,173	2.3	0.70	1.036	1.531
5月	64,061	1.5	45,255	2.3	0.71	1.046	1.537
6月	64,224	1.0	45,416	2.5	0.71	1.097	1.599
7月	63,834	0.6	45,482	2.3	0.71	1.106	1.605
8月	64,247	0.9	45,607	2.2	0.71	1.106	1.603
9月	63,823	0.8	45,739	2.3	0.72	1.118	1.602
10月	63,471	0.8	45,784	2.5	0.72	1.122	1.602
11月	64,204	1.1	45,955	2.5	0.72	1.126	1.601
12月	64,138	0.8	46,431	3.3	0.72	1.160	1.601
R8.1月	63,441	1.2	46,680	3.6	0.74	1.178	1.604
2月	63,555	1.5	47,134	4.2	0.74	1.213	1.706
3月	65,505	4.2	46,701	2.2	0.71	1.260	1.728

※1：実質預金に対する貸出金の割合。この比率は、県企画部企画調整課で算出したものである。

⑦ 関係機関による景況調査等

- 短期経済観測調査(日銀那覇支店)では、令和8年1月-3月期の業況判断DIはプラス41となり、15期連続のプラスとなった。また、次期見通しもプラスとなっている。雇用判断DIについては、現状・次期見通しともに「不足」超となっている。
- 法人企業景気予測調査(沖縄総合事務局)では、令和8年1月-3月期の景況判断BSIはプラス5.5となった。次期見通しもプラスとなっている。雇用では現状、次期見通しともに「不足気味」超となっている。
- 県内企業景況調査(沖縄振興開発金融公庫)では、令和8年1月-3月期の業況判断DIは16期連続のプラス、次期見通しもプラスとなっている。雇用判断DIでは、当期、来期ともに「不足」超となっている。

※ 各調査は、調査対象や内容等が異なるため、調査結果の比較に注意を要する。

※ DI及びBSIは、回答の構成割合の差と定義される。例えば景況DIは、「良い」の回答割合から「悪い」の回答割合を差し引いたものである。

※ 法人企業景気予測調査はBSIを用いている。

	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店) 業況判断DI	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局) 景況判断BSI	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫) 業況判断DI
R7. 1-3	34	5.3	8.5
4-6	37	5.1	12.7
7-9	39	28.3	9.5
10-12	42	△8.3	11.2
R8. 1-3 (※1)	41 (35)	5.5 (2.8)	11.8 (10.9)
次期見通し	33	10.1	6.9

※1：下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店) 雇用判断DI	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局) 雇用判断BSI※1	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫) 雇用判断DI※1
R7. 1-3	△62	△42.3	△56.4
4-6	△52	△51.8	△56.1
7-9	△55	△49.5	△53.3
10-12	△54	△47.6	△57.2
R8. 1-3 (※2)	△55 (△55)	△48.6 (△41.9)	△55.2 (△55.9)
次期見通し	△54	△34.6	△55.2

※1：法人企業景気予測調査と県内企業景況調査の原資料においては、(不足-過剰)をDI・BSIと定義しているが、本資料では短期経済観測調査の表記に合わせて、符号を反転し、全て(過剰-不足)のDI・BSIとして掲載している。

※2：下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

⑧ その他

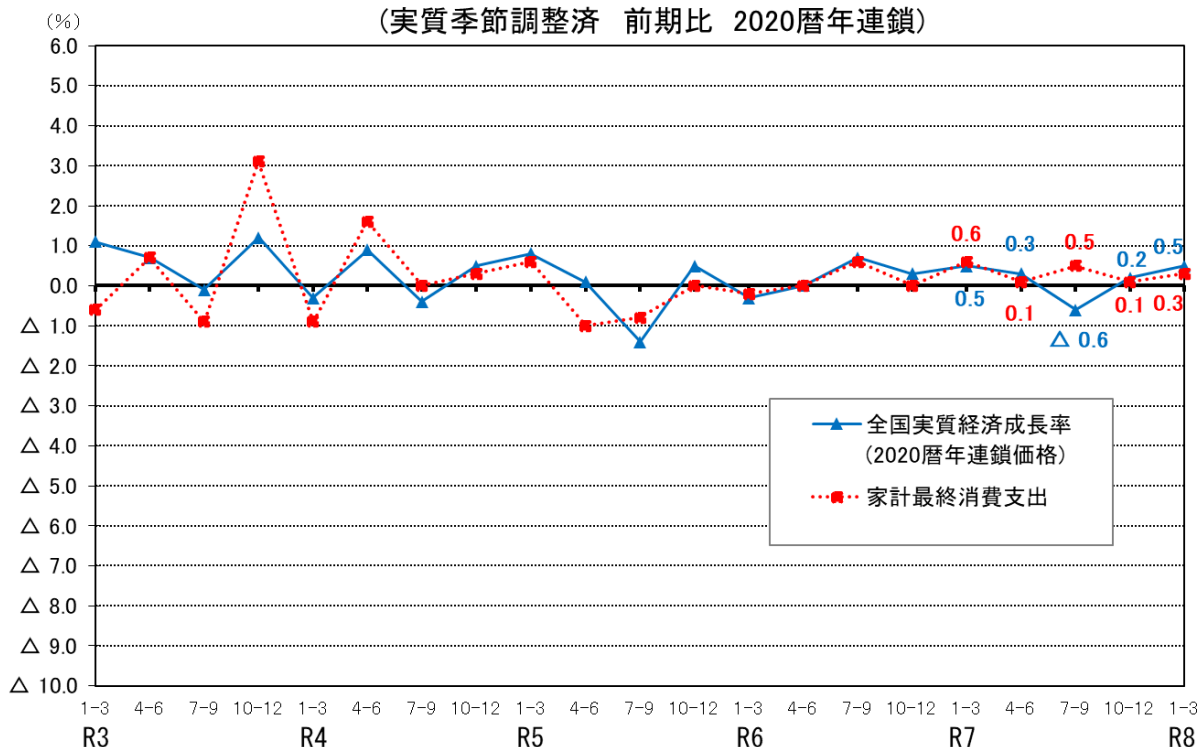
- 企業倒産について、件数は4期連続で、負債総額は3期連続で前年同期を上回った。
- 貿易額について、輸出額は前年同期を下回っており、輸入額は前年同期を上回っている。

	鉱工業指数 (季節調整済指数)				企業倒産			沖縄地区税関貿易額				
	生産指数		出荷指数		(負債総額1千万円以上)			輸出額		輸入額		差引額 (輸出-輸入)
	R2=100	前期比 (%)	R2=100	前期比 (%)	件数	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円
参考 R3. 1-3月	103.9	3.4	99.4	△ 0.6	16	6,519	347.4	7,326	33.8	21,198	△ 39.5	△ 13,872
参考 R4. 1-3月	96.8	△ 4.3	100.7	4.0	13	3,764	△ 42.3	34,188	366.7	28,764	35.7	5,424
参考 R5. 1-3月	94.7	2.2	96.9	3.7	11	703	△ 81.3	8,783	△ 74.3	54,880	90.8	△ 46,097
参考 R6. 1-3月	96.8	△ 0.4	96.8	△ 2.1	14	686	△ 2.4	14,878	69.4	48,180	△ 12.2	△ 33,302
R7. 1-3月	92.7	△ 0.1	88.8	△ 4.1	13	750	9.3	6,752	△ 54.6	51,314	6.5	△ 44,562
4-6月	91.0	△ 1.8	93.8	5.6	18	1,468	△ 30.8	9,534	△ 30.7	119,722	82.6	△ 110,188
7-9月	90.5	△ 0.5	93.2	△ 0.6	14	1,574	16.1	7,181	3.8	61,326	△ 42.0	△ 54,145
10-12月	87.5	△ 3.3	90.1	△ 3.3	22	1,348	2.5	7,231	19.1	67,926	△ 19.7	△ 60,695
R8. 1-3月	86.6	△ 1.0	88.2	△ 2.1	28	4,231	464.1	6,177	△ 8.5	85,368	66.4	△ 129,000
R7. 1月	92.7	△ 0.1	92.5	4.5	6	336	△ 19.2	1,915	△ 10.4	22,419	50.7	△ 20,504
2月	80.5	△ 13.2	87.9	△ 5.0	2	98	△ 37.6	2,206	30.5	11,425	△ 31.7	△ 9,219
3月	91.1	13.2	85.9	△ 2.3	5	316	179.6	2,631	△ 76.2	17,470	5.4	△ 14,839
4月	91.1	0.0	91.9	7.0	10	535	184.6	1,975	△ 53.6	21,336	4.6	△ 19,361
5月	90.9	△ 0.2	94.5	2.8	2	280	409.1	1,841	△ 12.6	37,616	88.1	△ 35,775
6月	91.1	0.2	95.0	0.5	6	653	△ 65.2	5,718	△ 22.6	60,770	141.3	△ 55,052
7月	91.0	△ 0.1	92.6	△ 2.5	8	891	△ 18.9	3,053	0.7	24,787	△ 55.1	△ 21,734
8月	90.6	△ 0.4	93.5	1.0	2	200	△ 0.5	1,765	△ 15.0	15,304	△ 59.4	△ 13,539
9月	90.0	△ 0.7	93.4	△ 0.1	4	483	762.5	2,363	30.8	21,235	66.5	△ 18,872
10月	86.2	△ 4.2	93.0	△ 0.4	7	328	△ 38.9	2,941	42.6	13,827	△ 6.4	△ 10,886
11月	82.6	△ 4.2	90.1	△ 3.1	9	755	163.1	1,965	△ 0.2	28,651	15.4	△ 26,686
12月	93.8	13.6	87.2	△ 3.2	6	265	△ 46.0	2,325	14.0	25,448	△ 43.5	△ 23,123
R8. 1月	92.7	△ 1.2	90.9	4.2	9	1,049	212.2	2,369	23.7	37,243	66.1	△ 34,874
2月	79.9	△ 13.8	88.9	△ 2.2	8	1,792	1,728.6	2,091	△ 5.2	16,158	41.4	△ 14,067
3月	87.1	9.0	84.8	△ 4.6	11	1,390	339.9	1,717	△ 34.7	31,967	83.0	△ 30,250

- 全国の1-3月期の実質 GDP 成長率(季節調整済)は、前期比増減 0.5%増、年率換算 1.8%のプラス成長となった。

全国「経済成長率」「家計最終消費支出」四半期別推移

(実質季節調整済 前期比 2020暦年連鎖)



＜参考＞関係機関による景況判断

	内閣府 (月例経済報告：全国)	沖縄総合事務局	沖縄振興開発 金融公庫	日銀那覇支店	りゆうぎん総 研	おきぎん経研	海邦総研	沖 縄 県
公表 R7/2 (指標1月)	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/3 (指標2月)	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/4 (指標3月)	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。	管内経済は、緩やかに回復している	県内景況は、拡大している	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。	県内景気は踊り場の状態にある	景気は、回復の動きが強まっている。
公表 R7/5 (指標4月)	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/6 (指標5月)	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/7 (指標6月)	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。	管内経済は、回復している。	県内景況は、拡大している	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。	県内景気は緩やかに拡大している	景気は、拡大基調にある。
公表 R7/8 (指標7月)	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。			(公表なし)	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/9 (指標8月)	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/10 (指標9月)	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。	管内経済は、回復している。	県内景況は、拡大している	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。	県内景気は緩やかに拡大している	景気は、拡大基調にある。
公表 R7/11 (指標10月)	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R7/12 (指標11月)	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R8/1 (指標12月)	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。	緩やかに拡大しつつある。	県内景況は、拡大している	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。	県内景気は緩やかに拡大している	景気は、拡大基調にある。
公表 R8/2 (指標1月)	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R8/3 (指標2月)	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。			県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。		
公表 R8/4 (指標3月)	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。	緩やかに拡大しつつある。	県内景況は、拡大している	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している	県内景況は、拡大基調にある。	県内景気は緩やかに拡大している	景気は、拡大基調にある。
公表時期	毎月	3ヶ月毎	3ヶ月毎	毎月	毎月	毎月	3ヶ月毎	3ヶ月毎

注1：内閣府（月例経済報告）においては、公表月の2ヶ月前の指標に加え、公表日まで得られた指標等も併せて判断している。

注2：沖縄総合事務局においては、前回判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

注3：日銀那覇支店においては、概ね公表の前営業日までに入手可能な経済指標（特に明記がない場合、前々月分）や情報を用いて判断している。

出 典 一 覧

項 目	出 典
①観光 入域観光客数 主要ホテル客室稼働率 観光施設入場者数	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課 日本銀行那覇支店 (株)りゅうぎん総合研究所
②個人消費 百貨店・スーパー販売額 コンビニ販売額 家電製品販売額 自動車販売 家計消費支出(二人以上の世帯)	経済産業省 日本銀行那覇支店 経済産業省 沖縄県自動車販売協会 沖縄県企画部統計課
③建設関係 住宅着工 非居住建築物 公共工事保証請負額 建設資材価格指数	国土交通省 国土交通省 西日本建設業保証(株) (一財)経済調査会
④雇用情勢 労働力調査 (労働力人口、就業者数、完全失業者数、完全失業率) 労働市場の動き (求職者数、求人数、有効求人倍率、正社員有効求人倍率) 現金給与総額指数	沖縄県企画部統計課 厚生労働省沖縄労働局 沖縄県企画部統計課
⑤物価 消費者物価指数 レギュラーガソリン小売価格	沖縄県企画部統計課 経済産業省資源エネルギー庁
⑥金融 預金・貸出金残高(県内6行庫計) 地方銀行・約定平均金利(全国) 地元3行貸出約定平均金利(沖縄)	日本銀行 日本銀行 日本銀行那覇支店
⑦関係機関における景況調査等 県内企業短期経済観測調査 法人企業景気予測調査 県内企業景況調査	日本銀行那覇支店 沖縄総合事務局財務部 沖縄振興開発金融公庫
⑧その他 鉱工業指数 企業倒産 沖縄地区税関貿易額 全国の経済成長率等	沖縄県企画部統計課 (株)東京商工リサーチ 財務省沖縄地区税関 内閣府